

付録 1 3 T T C標準に対するオプション項目の選択について

本付録は、T T C標準の J T - Q 9 3 1 のオプション項目一覧をもとに、I N S ネットにおける選択内容を明確に示したものです。

項番	項 目 (T T C標準項番)	選 択 肢		備 考
		網	ユーザ	
1	「応答」メッセージに対する 「応答確認」メッセージの転送 (5.1.8)	提供する	転送する／しない	網はユーザが転送した場合は処理すること
		提供しない	-----	
2	「繰り返し識別子」情報要素の提供 (3.1.14)	提供する	利用する／しない	
		提供しない	-----	
3	“経過識別子”情報要素の提供 (3.1～3.2)	提供する	利用する／しない	「経過表示」メッセージ に含まれる場合は必須
		提供しない	-----	
4	「付加情報」メッセージの提供 (3.1.8, 3.3.6)	提供する	利用する／しない	
		提供しない	-----	
5	「チャンネル識別子」情報要素の設定 (3.1～3.3)	設定する	利用する／しない	必須の場合有り (本文参照)
		設定しない	〃	
6	「表示」情報要素の提供 (3.1～3.3)	提供する	-----	
		提供しない	-----	
7	「送信完了」情報要素の提供 (3.1.14, 3.3.9, 5.2.1)	提供する	利用する／しない	
		提供しない	-----	
8	「解放」、「解放完了」メッセージ の「理由表示」情報要素の設定 (3.1～3.3)	設定する	利用する／しない	必須の場合有り (本文参照)
		設定しない	〃	
9	「キーボードファシリティ」 情報要素の提供 (3.1.8, 3.1.14, 3.3.6, 3.3.9, 5.1.1)	提供する	利用する／しない	
		提供しない	-----	
10	「発サブアドレス」情報要素の提供 (3.1.14, 3.3.9)	提供する	利用する／しない	
		提供しない	-----	
11	「着サブアドレス」情報要素の提供 (3.1.14, 3.3.9)	提供する	利用する／しない	
		提供しない	-----	
12	「低位レイヤ整合性」情報要素の提供 (3.1.14, 3.3.9)	提供する	利用する／しない	
		提供しない	-----	
13	「高位レイヤ整合性」情報要素の提供 (3.1.14, 3.3.9)	提供する	利用する／しない	
		提供しない	-----	
14	「中継網選択」情報要素の提供 (3.1.14, 3.3.9)	提供する	利用する／しない	
		提供しない	-----	
15	「情報速度」情報要素の提供 (3.2.9)	提供する	利用する／しない	
		提供しない	-----	

項番	項 目 (TTC標準項番)	選 択 肢		備 考
		網	ユーザ	
16	「エンド・エンド中継遅延」情報要素の提供 (3.2.9)	提供する	利用する/しない	
		提供しない	-----	
17	「中継遅延選択表示」情報要素の提供 (3.2.9)	提供する	利用する/しない	
		提供しない	-----	
18	「パケットレイヤバイナリーパラメータ」情報要素の提供 (3.2.9)	提供する	利用する/しない	
		提供しない	-----	
19	「パケットレイヤウィンドウサイズ」情報要素の提供 (3.2.9)	提供する	利用する/しない	
		提供しない	-----	
20	「パケットサイズ」情報要素の提供 (3.2.9)	提供する	利用する/しない	
		提供しない	-----	
21	「転送元番号」情報要素の提供 (3.2.9)	提供する	利用する/しない	
		提供しない	-----	
22	「着番号」情報要素の提供 (3.3.9)	提供する	利用する/しない	
		提供しない	〃	
23	「網特有ファシリティ」情報要素の提供 (3.3.9)	提供する	利用する/しない	
		提供しない	-----	
24	「発番号」情報要素の提供 (3.3.9)	提供する	利用する/しない	
		提供しない	〃	
25	表示情報要素の最大長 (3, 4.5.1表4.3, 4.5.16)	34オクテット	最大34オクテット	
		82オクテット	最大34/84オクテット	
26	ユーザ・ユーザ情報要素の最大長 (4.5.1表4.3, 4.5.30)	131オクテット	最大131オクテット	131オクテットが望ましい
		35オクテット	最大35オクテット	
27	「シグナル」情報要素の提供 (3, 4.5.28)	提供する	利用する/しない	
		提供しない	-----	
28	一次群インタフェースでの呼番号値 (4.3)	1オクテットをサポートする	1オクテットをサポートする	TTCとしては、2オクテットを標準とする
		1オクテットをサポートしない	1オクテットをサポートしない	
29	ダミー呼番号 (4.3)	提供する	利用する/しない	ステイミュラス手順サービスの有無による
		提供しない	-----	
30	チャンネル識別子情報要素の最大長 (4.5.1表4.3, 4.5.13)	サービス条件による	-----	
31	網特有ファシリティの最大長 (4.5.1表4.3, 4.5.21)	サービス条件による	-----	
32	発番号情報要素の最大長 (4.5.1表4.3, 4.5.10)	サービス条件による	-----	

項番	項目 (TTC標準項番)	選 択 肢		備 考
		網	ユーザ	
33	着番号情報要素の最大長 (4.5.1表4.3, 4.5.8)	サービス条件による	-----	
34	転送元番号情報要素の最大長 (4.5.1表4.3, 4.6.7)	サービス条件による	-----	
35	中継網選択情報要素の最大長 (4.5.1表4.3, 4.5.29)	サービス条件による	-----	
36	チャンネル識別子内での一次群速度 インタフェースのチャンネル指定 (4.5.13)	チャンネル番号	チャンネル番号	
		スロットマップ	スロットマップ	
37	「分割メッセージ」情報要素の提供 (4.5.26, 付属資料H)	提供する	利用する/しない	
		提供しない	-----	
38	シグナル情報要素のシグナル 値=呼出オンパターン 0~7の呼出しパターン (4.5.28)	サービス条件による	-----	
39	付加サービス情報要素内の「日時」 情報要素の時刻表示 (4.6.1)	情報要素を提供しない	-----	
		ローカルタイム の時刻表示を提供する	利用する	
			利用しない	
		世界標準時の時刻 表示を提供する	利用する	
利用しない				
40	ユーザ側における使用中チャンネルの 監視機能 (5.1.1)	-----	利用する	
			利用しない	
41	データリンクコネクションの保持 (5.2)	提供する	利用する/しない	
		提供しない	-----	
42	「呼設定」メッセージを受信した ユーザが不整合と判断した場合の動作 (5.2.2)	-----	着呼を無視する 理由表示#88を含めた「解放完了」 メッセージを送出	
43	「呼設定」メッセージで網は「チャネ ルなし」のチャンネル識別子を送出し うる (5.2.3)	送出する	利用する/しない	
		送出しない	-----	
44	「呼設定」メッセージに対する 「呼設定受付」メッセージの転送 (5.2.5.1)	提供する	転送する/しない	網はユーザが転送した場合は 処理すること
		提供しない	-----	

項番	項 目 (T T C 標準項番)	選 択 肢		備 考
		網	ユーザ	
4 5	「呼出」メッセージが既に送出されている場合の「応答」メッセージに含まれる情報 (5.2.7)	網はいずれでも 処理すること	呼番号のみ	
			他の情報も含む	
4 6	「呼設定」メッセージに表示されたBチャンネルを使って呼を受け付けることができ、ユーザ呼出通知が必要ない場合、「呼出」メッセージを先に送出せずに「応答」メッセージを送出 (5.2.7)	網はいずれでも 処理すること	送出する	
			送出しない	
4 7	ポイント・ポイントデータリンクにより「呼設定」メッセージ受信時、チャンネル選択が完結しだいBチャンネルを接続する (5.2.8)	-----	接続する	
			接続しない	
4 8	第2の理由表示情報要素として理由表示“#102”の送出 (5.3.3, 5.3.4.1, 5.3.4.2)	送出する	送出する/しない	
		送出しない	-----	
4 9	保守状態にあるBチャンネルに初期設定手順を用いる (5.3.3, 5.3.4.3, 5.5)	提供する	使用する/しない	
		提供しない	-----	
5 0	経過内容#8を含んだ「切断」メッセージ受信時、Bチャンネルを保持し、「切断通知」状態に移る (5.3.4.1)	-----	Bチャンネルを維持する	
			Bチャンネルを切断する	
5 1	初期設定手順の提供 (5.5)	提供する	提供する/しない	網のプロトコル条件による。ただし、以下の2条件が満たされた場合は提供必須 ①ユーザ・網ともにインタフェース構成を知っており、かつ ②インタフェースが基本アクセスでかつポイント・ポイント構成または、一次群アクセスである
		提供しない	-----	
5 2	中断・再開時の呼識別 (5.6.1)	-----	提供する	
			提供しない	

項番	項目 (TTC標準項番)	選 択 肢		備 考
		網	ユーザ	
5 3	アクセス情報要素 (ex. ユーザ・ユーザ情報、着サブアドレス) の最大長オーバー (5.8.7.2)	理由表示 #43 “アクセス情報破棄” を含む「状態表示」メッセージを返す	-----	
		アクセス情報要素を最大長に切り詰めて処理続行		
5 4	レイヤ2再設定時の同位エンティティに対する呼状態確認のための「状態表示」・「状態問合せ」・「切断」メッセージ (5.8.9)	送出する	送出する／しない	これらのメッセージ受信時の処理機能は必須
		送出しない	送出する／しない	
5 5	データリンク故障に対するユーザ側データリンク再設定 (5.8.9)	-----	通信中の呼に対しデータリンクを再設定する	データリンクを再設定するならば、タイマT309 が必要
			通信中の呼に対しデータリンクを再設定しない	
5 6	状態不一致を通知する「状態表示」メッセージを受信時の処理 (5.8.11)	理由表示 #101 “呼状態とメッセージ不一致” を伴って呼を切断復旧する	理由表示 #101 “呼状態とメッセージ不一致” を伴って呼を切断復旧する	
			呼状態の不一致からの回復を行う為の適当な動作をとる	
		呼状態の不一致からの回復を行う為の適当な動作をとる	同 上	
5 7	順序誤りの情報要素受信時の動作 (5.8.5.1)	順序誤りの情報要素を無視する	順序誤りの情報要素を無視する	
			正常に処理する	
		正常に処理する	同 上	

項番	項目 (TTC標準項番)	選 択 肢		備 考
		網	ユーザ	
58	NT2 によって理解できない理由表示値、生成源コード、診断情報を含むメッセージを受信した場合の処理 (5.8.6.2注)	-----	理由表示#100“情報要素の内容が無効”を伴った「解放」メッセージを送信し、理由表示#31“その他の正常クラス”を他のエンティティに渡す	
		-----	受信した理由表示を他のエンティティに渡す	送信する「解放」メッセージの理由表示はNT2 のインプリメンテーションによる
59	“理解する必要性あり”とコード化されていない認識されない情報要素を持ち、メッセージ種別が「切断」、「解放」、「解放完了」メッセージ以外のメッセージを受信した場合の処理 (5.8.7.1)	「状態表示」メッセージを返送する	「状態表示」メッセージを返送する／しない	
		「状態表示」メッセージを返送しない	「状態表示」メッセージを返送する／しない	
60	無効な内容を持つ1つ以上の非必須情報要素を持つメッセージを受信した場合の処理 (5.8.7.2)	「状態表示」メッセージを返送する	「状態表示」メッセージを返送する／しない	
		「状態表示」メッセージを返送しない	「状態表示」メッセージを返送する／しない	
61	NT2 によって理解できない理由表示値、生成源コード、診断情報を含むメッセージを受信した場合の処理 (5.8.7.2注)	-----	理由表示#100“情報要素の内容が無効”を伴った「状態表示」メッセージを送信し、情報要素を破棄する	
		-----	「状態表示」メッセージを送信せず、情報要素を破棄する	
		-----	「状態表示」メッセージを送信せず、情報要素を破棄しない	
62	状態は一致しているが状態表示メッセージが理由表示(#96、#97、#99、#100)を含む場合の切断復旧以外の回復手順 (5.8.11)	特に規定しない	特に規定しない	詳細に規定できうるか今後の検討とする
63	伝達能力の選択手順 (5.11)	提供する	利用する／しない	
		提供しない	-----	
64	高位レイヤ整合性選択手順 (5.12)	提供する	利用する／しない	
		提供しない	-----	

項番	項目 (TTC標準項番)	選 択 肢		備 考
		網	ユーザ	
6 5	フォールバックを許容されている「呼設定」メッセージを受信し、最低の優先順位の伝達能力を受け付ける場合の「応答」メッセージの送信 (5.11.2.1)	-----	「伝達能力」情報要素を含める	
			「伝達能力」情報要素を含めない	
6 6	フォールバックを許容されている「呼設定」メッセージを受信し、最低の優先順位の高位レイヤ整合性を受け付ける場合の「応答」メッセージの送信 (5.12.2.1)	-----	「高位レイヤ整合性」情報要素を含める	
			「高位レイヤ整合性」情報要素を含めない	
6 7	パケット交換設備へのアクセス方法 (6)	ケースA (PSPDN サービス)	-----	JT-X31 にも記載
		ケースB (ISDN バーチャルサーキットサービス)		
6 8	コネクション種別の提供 (6)	半固定コネクション	-----	JT-X31 にも記載
		交換形コネクション		
6 9	ケースBで、PH へのアクセスコネクションに用いるチャンネル種別の提供 (6)	Bチャンネル	-----	ケースBの場合
		Dチャンネル		
7 0	半固定コネクション種別の提供 (6)	物理レイヤによる半固定コネクション	-----	JT-X31 にも記載
		物理レイヤ及びデータリンクレイヤによる半固定コネクション		
7 1	AU へのコネクションの提供方法 (6.1.1)	呼設定情報(AU の識別番号、中継網選択等)	-----	ケースAの場合 JT-X31 にも記載
		加入時の合意		
7 2	「応答確認」メッセージを発信ユーザから網へ転送 (3.2.4, 6.1.2.1)	提供する	転送する/しない	JT-X31 にも記載
		提供しない	-----	
7 3	着呼提供時のチャンネル選択 (6.2.2.3.1)	提供する	-----	ケースBの場合
		提供しない		

項番	項 目 (TTC標準項番)	選 択 肢		備 考
		網	ユーザ	
7 4	着呼パケット内情報要素の呼設定 (SETUP) メッセージへのマッピング (6.2.2.3.2)	提供する	-----	ケースBの場合
		提供しない		
7 5	着呼提供手順なしのチャンネル選択 (6.2.2.3.3)	提供する	-----	ケースBの場合
		提供しない		
7 6	バーチャルコール設定・解放手順に おけるX.32 端末識別 (6.3)	必要	-----	JT-X31 にも記載
		不要		
7 7	条件付き通知クラスにおける早切りの 場合、肯定的に応答した端末（アクセ ス コネクション）への動作 (6.4.3)	アクセスコネクシ ョンを即切断復旧	-----	ケースBの場合 JT-X31 にも記載
		アクセスコネクシ ョンを確立させ、 T320 をスタート		
7 8	Q.931 メッセージからX.25 切断指示 パケットへの理由表示のマッピング (6.4.3)	診断符号# 0 “追 加情報無し”を伴 う切断原因# 0 “DTE 復旧”を用 いる		
		表6-5/JT-Q931 に従 い対応するX.25 理 由表示を用いる		
7 9	AU における理由表示／切断原因間の マッピングの提供 (6.4.4.1)	6.4.4.2 節に従う	-----	ケースAの場合 JT-X31 にも記載
		6.4.4.2 節に従わな い		
8 0	X.25 切断原因をQ.931 へ変換する場 合、Q.931 理由表示のオクテット3 a で「X.25」を表示し、オクテット4ー 5をX.25 に従ってコーディングする 方法 (6.4.4.2)	提供する	-----	ケースBの場合 JT-X31 にも記載
		提供しない		
8 1	ユーザ・ユーザ信号付加サービス (7.1.1)	サービスを提供し ない	-----	
		サービス1、2お よび3の1つだけ 又は組合せで提供		
8 2	回線交換モードマルチレート (64kbps ベースレート) (8)	提供する	利用する／しない	
		提供しない	-----	
8 3	マルチレート呼に対するチャンネル割当 方法 (8.1.2, 8.2.2)	連続チャンネル割当て	連続チャンネル割当て	
		非連続チャンネル割 当て	非連続チャンネル割当て	

項番	項 目 (TTC標準項番)	選 択 肢		備 考
		網	ユーザ	
84	タイマT306 (9.1表9-1)	インプリメントする	-----	インバンドトーン/アナウンスが供給されている場合は必須
		インプリメントしない		
85	タイマT314 (9.1表9-1)	インプリメントする	-----	メッセージ分割手順(付属資料K)の場合は必須
		インプリメントしない		
86	タイマT316 (9.1表9-1)	インプリメントする	-----	初期設定手順(5.5)がインプリメントされている場合は必須
		インプリメントしない		
87	タイマT317 (9.1表9-1)	インプリメントする	-----	初期設定手順(5.5)がインプリメントされている場合は必須
		インプリメントしない		
88	タイマT320 (9.1表9-1)	インプリメントする	-----	パケット通信のケースBの場合
		インプリメントしない		
89	タイマT321 (9.1表9-1)	インプリメントする	-----	Dチャンネルバックアップ手順(付属資料F)がインプリメントされている場合は必須
		インプリメントしない		
90	タイマT322 (9.1表9-1)	インプリメントする	-----	状態問合せ手順(5.8.10)がインプリメントされている場合は必須
		インプリメントしない		
91	タイマT301 (9.2表9-2)	-----	インプリメントする	対称な呼の運用に関する拡張(付属資料D)がインプリメントされている場合は必須
			インプリメントしない	
92	タイマT303 (9.2表9-2)	-----	インプリメントする	対称な呼の運用に関する拡張(付属資料D)がインプリメントされている場合は必須
			インプリメントしない	
93	タイマT309 (9.2表9-2)	-----	インプリメントする	
			インプリメントしない	

項番	項 目 (TTC標準項番)	選 択 肢		備 考
		網	ユーザ	
9 4	タイマT310 (9.2表9-2)	-----	インプリメントする	対称な呼の運用に関する拡張 (付属資料D) がインプリメ ントされている場合は必須
			インプリメントしない	
9 5	タイマT314 (9.2表9-2)	-----	インプリメントする	メッセージ分割手順(付属資 料H) がインプリメントされ ている場合は必須
			インプリメントしない	
9 6	タイマT316 (9.2表9-2)	-----	インプリメントする	初期設定手順(5.5) がインプ リメントされている場合は必 須
			インプリメントしない	
9 7	タイマT317 (9.2表9-2)	-----	インプリメントする	初期設定手順(5.5) がインプ リメントされている場合は必 須
			インプリメントしない	
9 8	タイマT318 (9.2表9-2)	-----	インプリメントする	中断再開手順(5.6) がインプ リメントされている場合は必 須
			インプリメントしない	
9 9	タイマT319 (9.2表9-2)	-----	インプリメントする	中断再開手順(5.6) がインプ リメントされている場合は必 須
			インプリメントしない	
1 0 0	タイマT321 (9.2表9-2)	-----	インプリメントする	Dチャンネルバックアップ手順 (付属資料F) がインプリメ ントされている場合は必須
			インプリメントしない	
1 0 1	タイマT322 (9.2表9-2)	-----	インプリメントする	状態問合せ手順(5.8.10) がイ ンプリメントされている場合 は必須
			インプリメントしない	
1 0 2	中断網選択 (付属資料C)	提供する	利用する/しない	
		提供しない	-----	
1 0 3	対称な呼の運用に関する拡張 (付属資料D)	提供する	利用する/しない	
		提供しない	-----	
1 0 4	網特有ファシリティ選択 (付属資料E)	提供する	利用する/しない	
		提供しない	-----	
1 0 5	低位レイヤ整合性交渉(アウトバンド 交渉)の提供(3, 付属資料J)	提供する	利用する/しない	
		提供しない	-----	

項番	項 目 (T T C 標準項番)	選 択 肢		備 考
		網	ユーザ	
1 0 6	ユーザ間で行われる低位レイヤ属性の 交渉手順 (付属資料 J. 4)	アウトバンド交渉 を提供する	交渉しない	
			アウトバンドで交渉	
			インバンドで交渉	
		インバンドあるいはア ウトバンドのいずれか で交渉		
		アウトバンド交渉 を提供しない	交渉しない	
			インバンドで交渉	
1 0 7	応答受信以前のベアラコネクション設 定手順の提供 (付属資料 K. 2)	着側インタフェー スでのチャネル交 渉成立時	利用する／しない	
		インバンド情報提 供指示を含むメッ セージ受信時	利用する／しない	
		提供しない	-----	